

○檀山妙子・鍵野優子¹⁾・諸岡淳司

(長崎県総合農林試験場・¹⁾ 県央農業改良普及センター)

【目的】カーネーションは現在1年1作の作型が定着しており、毎年高い苗を購入することが農家の経営を圧迫している。このため、種苗費の低減を目指し低コスト・省力生産技術である2年据え置き栽培技術の確立を図るため疎植栽培、整枝法、施肥方法の検討を行った。

【材料および方法】

1)カーネーション「ライトピンクバーバラ」を土耕パイプハウスに2001年6月27日各栽植密度で定植、2002年6月10日に20cmの高さで切り戻した。施肥は8月下旬から開始した。

2)県内主要4品種について、無整枝の他に、切り戻し時に枝を4本・2本に整枝した。

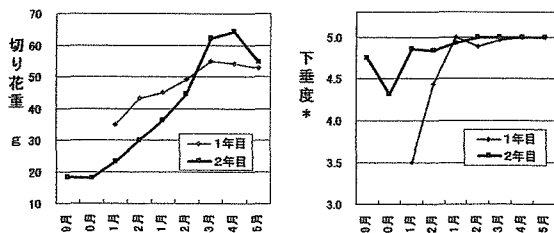
3)ガラスハウス隔離ベンチに主要4品種を2003年6月24日に定植し、2004年6月18日に15cmの高さで切り戻した。切り戻し後から7月までの施肥をOKF-9と硝酸石灰で10a当たり3.5-0.8-0.8kg(以下N3.5)、5.5-2.3-2.3kg(以下N5.5)施用し10月~12月までの収量と切り花品質を調査した。

【結果及び方法】

1)1年目の採花本数は栽植密度が増加するほど増え、2年目は栽植密度15.0~6.3株/㎡で140本/㎡を上回った。2カ年間の採花本数は12.5株/㎡が多くなった(表1)。2年目の切り花品質については、茎の強度は1年目より優れるが、切り花重は1年目よりも劣った。3月以降については、切り花重、茎の強度も十分に品質は良かった(図1)。2年目の採花は5月に集中した(データ略)

第1表 「ライトピンクバーバラ」の栽植密度と採花本数

栽植密度 株/㎡	栽植様式	栽植密度		合計 本/㎡
		1年目 本/㎡	2年目 本/㎡	
15(cont.)	10cm7目2条植え	173.0	151.2	324.2
12.5	12cm6目2条植え	167.1	163.0	330.1
11.7	10cm9目2条植え	144.9	147.2	292.1
9.4	12cm8目2条植え	147.4	143.7	291.1
7.5	10cm7目2条植え1目おき	122.9	151.9	274.8
6.3	12cm6目2条植え1目おき	126.8	152.0	278.8
5.9	10cm9目2条植え1目おき	111.1	133.3	244.4
4.7	12cm8目2条植え1目おき	104.7	126.0	230.7

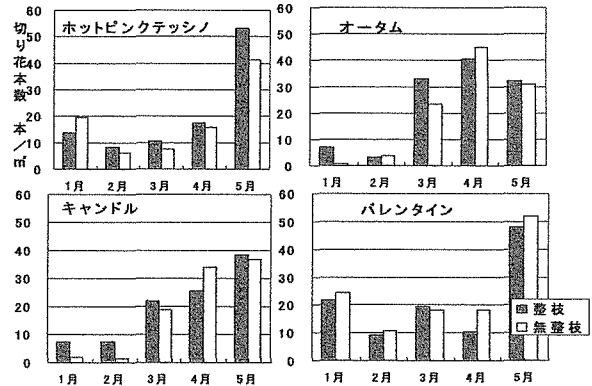


第1図 「ライトピンクバーバラ」2年目の花重と下垂度

*下垂度は5=0°とし、45°までを5段階に分類した数値

2)「ホットピンクテッシノ」「オータム」のよう

に豊産性であっても、パイプハウスにおいて1番花収穫後冬季2番花の立ち上がりが遅い品種については、整枝することにより2番花の採花を早めることができ、収量を確保できた。「バレンタイン」のように根張りが良く萌芽力が強い品種は冬季に無整枝でも収量は減少しなかった(図2)。



第2図 整枝、無整枝株の1~5月の採花本数

3)2年目の品質については、「レジーナ」「パールホワイトキャンドル」は11月に、「デリカード」は12月に切り花重が25g以上となり、いずれも下垂度は優れた。また、「デリカード」2年目は、N5.5で、12月の切り花重が1年目より重くなり、年内の採花本数も増加した(表2)。

第2表 施肥量と秋期の切り花品質

11月	品種名	試験区名	採花開始 日	切り花重	下垂度	1株当りの採 花本数	
							1年目
デリカード	1年目	6-7月N3.5	11/26	27.5 g	4.3	0.1	
			10/27	21.7	4.8	0.7	
			6-7月N5.5	11/1	23.6	4.8	0.9
ピダル	1年目	6-7月N3.5	11/6	31.7	3.8	0.9	
			10/26	21.7	3.3	0.6	
			6-7月N5.5	10/27	23.7	3.1	1.0
レジーナ	1年目	6-7月N3.5	11/10	37.8	4.6	0.7	
			11/11	31.1	4.9	0.2	
			6-7月N5.5	11/26	28.0	5.0	0.1
パールホワイ トキャンドル	1年目	6-7月N3.5	11/22	30.3	3.3	0.1	
			6-7月N5.5	11/15	30.7	4.0	0.1
			12月	品種名	試験区名	採花開始 日	切り花重
デリカード	1年目	6-7月N3.5	12/1	26.1 g	4.4	0.8	
			6-7月N5.5	25.1	5.0	0.8	
			6-7月N5.5	27.1	5.0	1.7	
ピダル	1年目	6-7月N3.5	12/1	34.2	3.8	2.0	
			6-7月N5.5	27.1	4.0	1.1	
			6-7月N5.5	28.2	4.0	1.6	
レジーナ	1年目	6-7月N3.5	12/1	39.5	5.0	1.4	
			6-7月N5.5	34.6	5.0	0.7	
			6-7月N5.5	31.6	5.0	0.6	
パールホワイ トキャンドル	1年目	6-7月N3.5	12/15	43.5	4.0	0.1	
			6-7月N5.5	36.4	4.2	0.3	
			6-7月N5.5	36.4	4.3	0.4	

以上のことより、カーネーションの2年切り栽培は、疎植でも収量が確保でき、切戻し時の整枝により冬季の収量減を回避できる。また、切戻し後の施肥量を調節することで、秋季の品質の向上が図れると思われる。但し、実施するにあたっては品種特性を考慮する必要がある。